

新加盟家族会の紹介

唐池学園貴志園友和会(家族会)が新たに神奈川施保連に加盟いたしましたので紹介いたします。
〒252-1124 綾瀬市吉岡2381-1
TEL: 0467-78-4178

神奈川施保連ニュース

発行人 岩本 邦雄 編集人 杉山 昌明
発行所 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14
神奈川県の知的障害者施設保護者会連合会
事務局 TEL&FAX 045-751-1010



青葉メゾン施設見学会報告

あゆみ

- 1989(平成元)年5月 試行会設立母体われわれの会発足
- 1993(平成5)年9月 たねの会設立母体進める会発足
- 1996(平成10)年11月 社会福祉法人試行会設立
- 1998(平成10)年 知的障害者入所厚生施設「青葉メゾン」、障害者短期入所施設「奈良障害者ショートステイセンター」、高齢者支援・地域福祉活動拠点「奈良地域ケアプラザ」開所
- 2000(平成12)年4月 青葉メゾン「こどもの国ワークステーション」開所
- 2000(平成12)年5月 社会福祉法人たねの会設立
- 2002(平成14)年4月 知的障害者通所施設「ワーク中川」開所
- 2004(平成16)年4月 青葉メゾン第二分場「ラ・プリランテ」開所
- 2005(平成17)年4月 青葉メゾン生活支援センター「Vivo」開所
- 2006(平成18)年1月 みどり地域活動ホーム「あおぞら」開所
- 2006(平成18)年12月 都筑区役所内ふれあいショップ「しゅしゅ」開所
- 2007(平成19)年4月 「ビーズ保育園」開所
- 2008(平成20)年4月 社会福祉法人試行会、たねの会法人合併し新生・試行会スタート
- 2011(平成23)年3月 あおば地域活動ホーム「すてっぷ」、青葉台地域プラザ」開所



神奈川施保連主催の施設見学会で10月6日(木)青葉区にある青葉メゾンを訪問しました。こどもの国駅前13時15分に40名弱の参加者が集合し、青葉メゾンの送迎車に分乗して見学会場に向かいました。



始めに施設長の中西晴之氏から施設の沿革や概要の説明がありました。昭和52年に米軍の米軍のフアントム戦闘機が青葉区に墜落した。たいわゆる「フアントム事件」で母子3人が亡くなった事故がありました。その支援活動が青葉メゾンのルーツだと言ったこと

でした。平成8年に建設をスタートしようと思いましたが近隣住民の猛反対に遭いました。粘り強く理解を得られ努力を続けました。が、2年かかり平成10年9月によろやく開所することが出来たそうです。青葉メゾンは三つの施設からなっている地域移行支援型の施設になっており一つ目の「青葉メゾン」は入所支援施設で定員は入所40名、通所20名です。職住分離を当初から図り、生活介護事業と居住施設と離れた場所に設置しているのが特徴です。中西施設長は横浜市で初めてパン屋や喫茶店をつくり職住分離の生活空間を作ってきたとの考えを述べておられました。こどもの国駅から青葉メゾンの間にパン店や作業所等の働く場が点在していました。

二つ目は高齢者のための「奈良地域ケアプラザ」では高齢者のデイサービスを行っています。三つ目は短期入所者の「奈良障害者ショートステイセンター」で定員20名で運営されています。ショートステイセンターを利用するためには初回は区役所経由で2ヶ月前から申し込むことになっています。



主な支援プログラム
地域移行支援(ケアホーム等)での生活を指す方に対するスキルの獲得のための支援
早期老化・高齢者支援(加齢に伴う意欲や機能低下の軽減のための支援)
適応行動獲得支援(コミュニケーションの向上支援)
健康増進支援(メタボ対策)

退行支援(適応水準低下対策)
機能維持・回復支援(リハビリ)

以上の6つに力を入れている。
そのほかに地域生活支援活動として余暇支援活動を行っている。
地域ケアプラザにボランティア登録している団体等が講師やボランティアとして参加して、地域の知的障害を持つ子どもたちに対してミカン狩り、フラワーアレンジメント、キャンプ(夏3回、冬1回)等を行っている。



質疑応答

Q: 名前の由来について
A: メゾンとは「瀟洒な家」という意味です。

Q: 投薬について
A: 従来の職員管理から地元の薬局に仕分け管理を委託している。当薬時には職員がダブルチェックして行っている。

以上

まだまだ時間があればもっと充実した時間になると思いますが、予定時間をかなりオーバーしてしまいました。が、有意義な見学会で、

中西施設長始めスタッフの施設運営にかける情熱に感銘を受けました。
文責 杉山 昌明



学習会のお知らせ

11月3日(木) 13:30~
海老名市文化会館会議室で学習会が開催されます。
ご出席をお待ちしています。
講演テーマ
「入所施設の地域移行と高齢化に関する課題」
講師: 浜走 弘之氏
(のばら園施設長)

平成23年度10月あるべき施設像研究会開催案内 会場 横浜市技能文化会館

標記の件、下記の通り「あるべき施設像研究会」を開催しますので各保護者会会長をはじめ役員の中から出席者を選び、出席するようお願いいたします。

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
会長 岩本邦雄

- 1. 日時 H23年10月31日(月) 9:30~16:00(予定)
- 2. 会場 横浜市技能文化会館 8階大会議室
JR 関内駅から徒歩3分
- 3. お願い
各保護者会から出席者の推薦(2名以上)
参加申し込み用紙で総務担当まで
- 4. 構成
9:30 開会挨拶・挨拶
9:40 事前情報の提供(嶋田)
12:20 昼食(ご用意します)・休憩
13:00 グループ討議(3グループ)
予定テーマ1~3(右記に分かれて討議・発表)

「利用者サービスの現状の問題点と家族会としての対応はどうあるべきか」
「地域生活移行とは何か?利用者にとっての必要条件はどうあるべきか」
「入所施設存続の必要性についての説得力あるアピールはどうあるべきか」

- 14:30 休憩
- 14:45 グループ別発表
1グループ20分 合計60分
- 15:45 岩本会長の講評と今後の神奈川施保連の取り組み
- 16:00 終了(予定)

障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。

加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会(旧やまゆり互助会)
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2神奈川県社会福祉会館内
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426

お願い

神奈川施保連ニュースへの五百字程度の各家族会からの投稿をお待ちしています。
総務担当までお寄せ下さい。

編集後記

青葉メゾン施設見学会特集号をお届けしました。十月は、あるべき施設像研究会が開催されます。会員の皆様のご参加をお待ちしています。